

「奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト」実施結果について

■ 9月2日（土）と3日（日）に実施しました「奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト」につきましては、地元住民の方や観光客の方々、また運送関係各社にご参加・ご協力をいただきました。

プロジェクト実施当日の結果速報値として、下記のとおりご報告いたします。当日ご参加・ご協力いただいた方々および、事前に協力意向をいただいた各企業の皆様には、心より御礼申し上げます。

実施結果については、一定の効果が確認できましたが、今後も整理・分析を進め、適宜報告させていただく予定です。

1. プロジェクト当日の様子

▼十和田西高生によるボランティアガイドの様子



▼徒歩による散策やサイクリングを楽しむ姿



2. 当日プロジェクト参加者数

- ・路線バスへの乗り換え、レンタサイクル、徒歩による参加者

2日(土): 43人(うちボランティアガイド参加38人)

3日(日): 85人(うちボランティアガイド参加47人)

合計: 128人(うちボランティアガイド参加85人)

- ・運送関係各社の、溪流区間を迂回等による参加

ご協力・ご賛同頂いた企業 **全25社**

3. 交通量調査結果(効果検証調査①)

・溪流区間(惣辺交差点~子ノ口交差点)の通過交通量

単位:台

月日	せせらぎ体感プロジェクト			通常期		
	9/2(土)	9/3(日)	2日間 小計	9/9(土)	9/10(日)	2日間 小計
天気	曇り	晴れ	—	晴れ	雨のち曇り	—
12h交通量 (7:00~19:00)	1,441 (▲864)	2,191 (▲393)	3,632 (▲1,257)	2,305	2,584	4,889
プロジェクト時交通量 (10:00~13:00)	403 (▲252)	615 (+29※)	1,018 (▲223)	655	586	1,241
うちマイカー (10:00~13:00)	213 (▲200)	405 (+14※)	618 (▲186)	413	391	804
うち業務車両 (10:00~13:00)	40 (▲7)	37 (▲9)	77 (▲16)	47	46	93
うちその他車種 (10:00~13:00)	150 (▲45)	173 (+24※)	323 (▲21)	195	149	344

()は増減交通量(せせらぎ体感プロジェクト-通常期)

※は交通量増が見られるが、9月10日(日)の天候(雨)等の変動要因が考えられる

4. 音環境調査結果(効果検証調査②③)

- ・プロジェクト実施時の、自然音の出現率増加を確認

阿修羅の流れ付近における自然音出現率 **68.6%→92.0%【約23ポイント増加】**

千筋の滝付近における自然音出現率 **41.8%→71.7%【約30ポイント増加】**

- ・聴感記述調査を行った3地点中2地点において、「静かで落ち着く」「せせらぎ音に癒やされる」という評価が増加 **40%→60%【20ポイント増加】**

※プロジェクトの詳細については、こちらをご覧ください。

【URL】 <http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/road/topic/oirase/index.html>

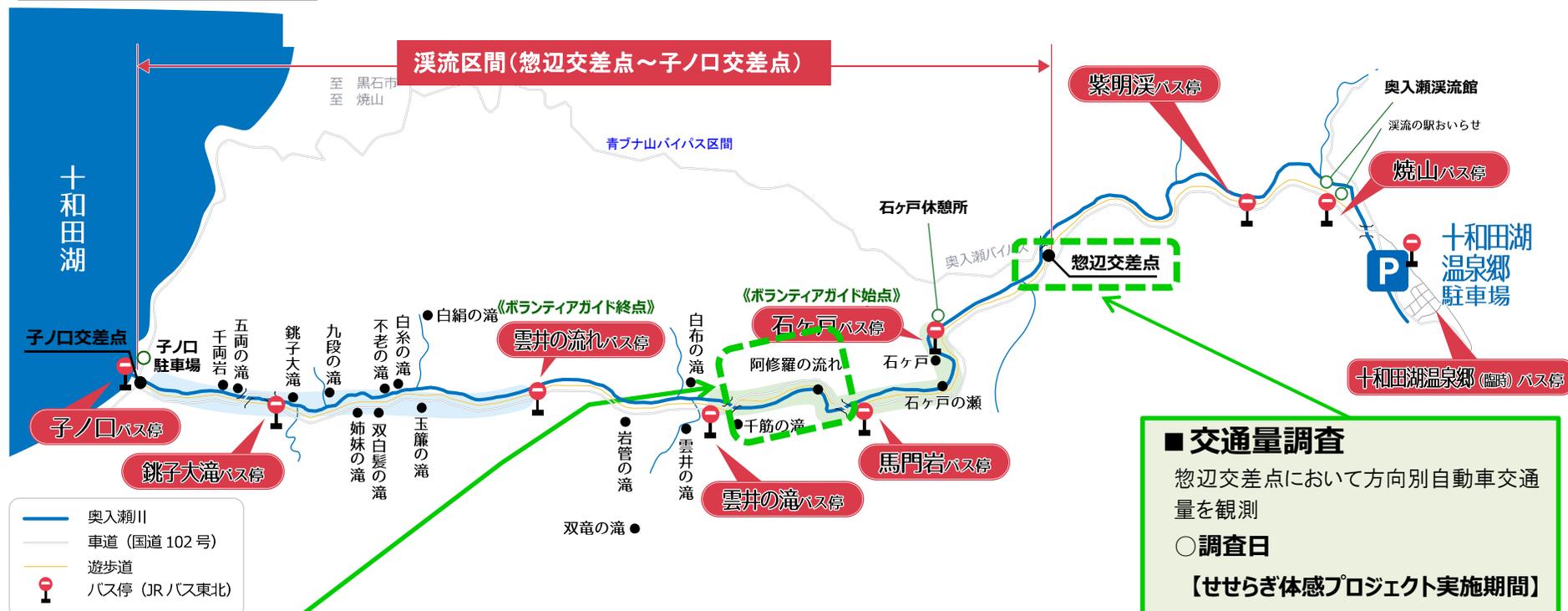
〈記者発表先：青森県政記者会、建設関係専門紙〉

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所 (直通) 017-734-4570

建設専門官 須藤 昌二 (内線 460)

調査位置図



■ 音環境調査

《支配音識別調査》

5秒毎の各瞬間において、何の音が一番大きいかを音種別に識別し測定
(1時間あたり720回測定)

○調査日

【せせらぎ体感プロジェクト実施期間】

H29.9.2(土)

【通常時】

H29.8.5(土)

○調査時間帯

7時~8時、9時~12時

《聴感記述調査》

現地で聞こえた音が「何処から聞こえる何の音か、どんな音で、聞こえた感じ、聞いてどんな思いをしたか」について地域の方も参加し調査

○調査日

【せせらぎ体感プロジェクト実施期間】

H29.9.2(土)

【通常時】

H29.8.17(木)

○調査時間帯

9時~10時、11時~12時

■ 交通量調査

惣辺交差点において方向別自動車交通量を観測

○調査日

【せせらぎ体感プロジェクト実施期間】

H29.9.2(土)、3(日)

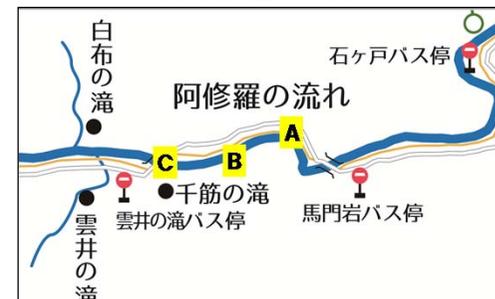
【通常時】

H29.9.9(土)、10(日)

○調査時間帯

7時~19時

▼ 聴感記述調査の実施地点



■ 効果検証調査① 交通実態調査（業務車両の状況）

■ 天候に左右されにくい業務交通である貨物車等の溪流区間通過状況は、せせらぎ体感プロジェクト実施期間、通常時の各2日間（12h）で比較すると**全体で60台が減少**し、通行自粛時間帯でも**16台減少**

▼業務車両の時間帯別溪流区間通行状況の比較

■ 通行自粛時間帯(10～13時)割合 ■ その他時間帯(7～10時、13～19時)



せせらぎ体感プロジェクトへ ご協力・ご賛同頂いた企業（敬称略・順不同）

有限会社北日本通商、東北商運株式会社、株式会社共同物流サービス、三八五トランスポート株式会社、ロジライ東北株式会社青森営業所、大虎運輸東北株式会社青森支店、株式会社東洋陸送社、青森小型貨物自動車運送株式会社、新成運輸株式会社、株式会社ベジポスト、丸井運輸機工株式会社、上野輸送株式会社八戸事業所、武蔵貨物自動車株式会社八戸支店、共栄車輛有限会社、有限会社新月運送、北海道毎日輸送株式会社青森営業所、下田町運送有限会社、有限会社日栄運輸興業十和田営業所、大矢建設工業株式会社、株式会社徳差組、株式会社功和産業、寺下運輸倉庫株式会社、有限会社弘永興業、北部運送株式会社、石田産業株式会社

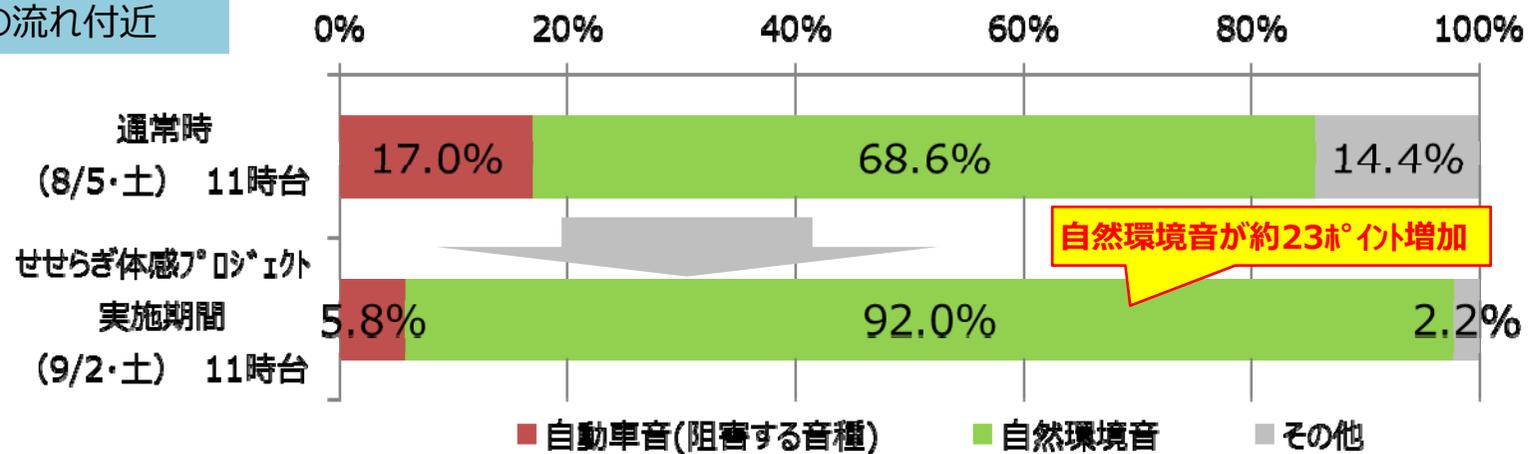
全25社

■ 効果検証調査② 奥入瀬溪流の音環境調査（支配音識別）

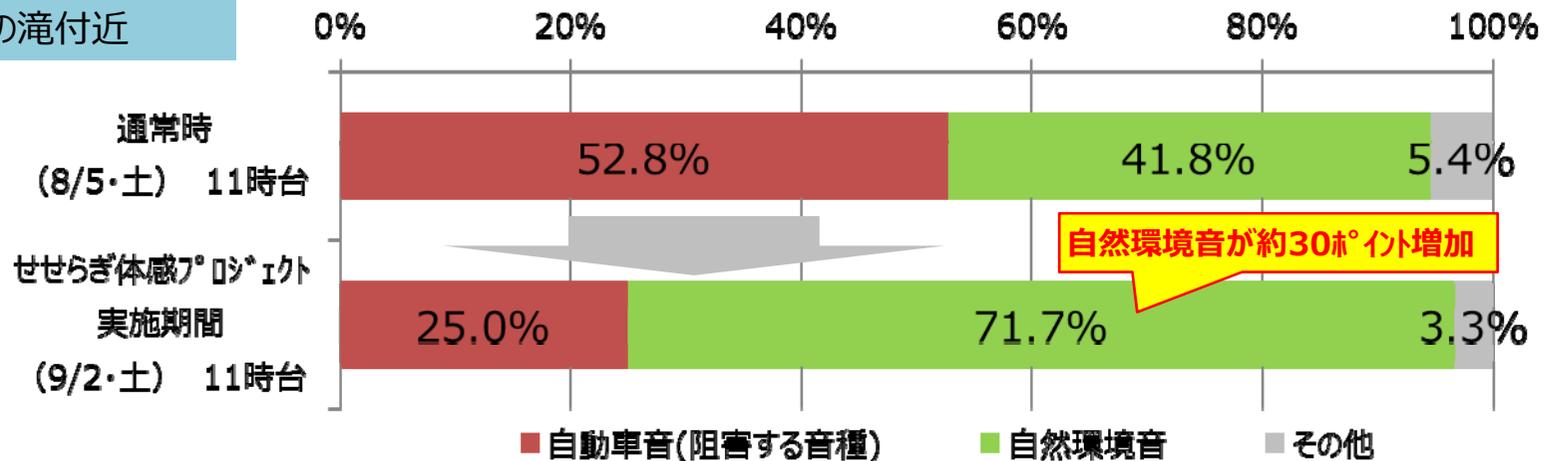
■ 阿修羅の流れ付近、千筋の滝付近ともにせせらぎ体感プロジェクト期間の通行自粛時間帯では、せせらぎの音など自然環境音の出現割合が増加。

▼ 観測地点別の音種区分別出現頻度の比較

阿修羅の流れ付近



千筋の滝付近



■ 効果検証調査③ 奥入瀬溪流の音環境調査（聴感記述）

■ 調査した3地点のうち、2地点において「静かで落ち着く」「せせらぎ音に癒やされる」という評価が増加。

▼聴感記述調査による総合評価（9月2日 9時台、11時台の比較）

